

『大力のフーニャ』 オトフリート・イスマー//作 大塚 勇三//訳

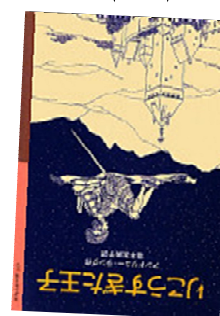
☆☆☆



なまけもののフーニャが、7年かまどの上でねてくらし、大力を身につけて、皇帝のかんむりを目指して旅をする

☆☆

『のこうぎた王子』 アンドリュウ・ラング//作



福本 友美子//訳

かしこすぎてきられていた王子が、竜のたいじに立ち向かうことに！

ゆかい・痛快

『小さなスプーンおばさん』 アルフ・ブリエイセン//著

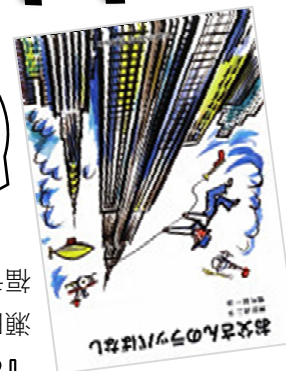


大塚 勇三//訳 学研

ときどきスプーンくらい小さくなっちゃうおばさん。頭をつかってピンチを乗り切る！

☆☆

『お父さんのラッパはなし』 瀬田 貞二//作 堀内 誠一//画



福音館書店

毎ばんお父さんが語ってくれらうば（ほら）ばなし。今日は、どんなおはなしが聞けるかな？

☆☆☆

『フンダ・ガプナ』 フンダ・ガプナ//編・絵 松岡 享子//訳



読んだあと思わず「ニヤリ」としてしまような、ユーモアにあふれた3つのおはなしが入っています。

福音館書店

『イギリスとアイルランドの昔話』 石井 桃子//編・訳 J.D.バトン//画



「三びきの子ツタ」や、ようせいのお話など、どこから読んでもおもしろいむかし話が、いっぱい。

☆☆

『空とびじゅうたん』 - アラビアン・ナイトの物語より -



3人の王子は、王女とけんけんするために、世にもめずらしいたから物をもとめて旅に出ますか…。

福音館書店

『世界のむかしはなし』



☆☆

おかし... いろいろな国のむかし話をノルウェーやロシアなど読みくらべてみませんか？

（キリトリ線）点線に沿って二つに折り、切り込みを入れてから線の位置で折りたたむと小さい冊子になります

『作ってふしぎ!』 トリックアート工作

北岡 明佳//監修
グループ・コロム布斯//構成・文
あかね書房



作ってためして、見て遊んで、トリックアートを体験してみよう！

☆☆



『鬼が出た』 大西 広//文
梶山 俊夫//ほか絵
福音館書店

鬼って一体なんだろう？
むかしむかしから、日本のくらしの中にいた鬼のひみつを知ろう。

☆☆

読んだ本の☆をぬってみよう！

いくつぬれたかな？ コ

2020.12 発行

～テーマ別ブックリスト～
開いてみよう
不思議のとびら

【3・4年生】

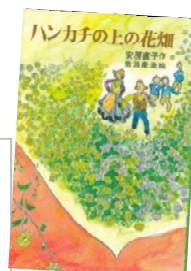


『しずく的首飾り』 ジョーン・エイキン//作
ヤン・ピアンコフスキー//絵
猪熊葉子//訳 岩波書店

魔法のようなお話の世界へ連れて行ってくれる短編集。

☆☆

『ハンカチの上の花畑』 安房 直子//作 岩淵 慶造//絵
あかね書房



酒屋のおばあさんが、白いハンカチを広げると、古いつばから小人が出てきてきくを植え、きく酒づくりをはじめ…。

☆☆

豊岡市立図書館

☆☆

行ってみよう！

『だれも知らない小さな国』 佐藤 さとる//作 村上 勉//絵
講談社



小学3年生の頃、僕には、お気に入りの美しい小山があった。ある日、そこを流れる小川に、小さな人を乗せた赤い靴が浮かんでいるのを見た。

☆☆☆



『おばけ美術館へいらっしゃい』 柏葉 幸子//作 ひらい たかこ//絵
ポプラ社

お父さんの会社の社長のゆい言で美術館の館長をすることになった10さいのまひる。ところが、そこはとんでもない美術館で…。

ドングリ山のでっぺんに住むやまんばんあさんは、296さい。とびきり元気なやまんばんあさんのゆかいなお話。

☆☆

『ドングリ山のやまんばんあさん』 富安 陽子//作 大島 妙子//絵
理論社



『ウェズレーの国』 ポール・フライシュマン//作
ケビン・ホークス//絵 千葉 茂樹//訳
あすなろ書房

ちょっと変わり者でなかま外れのウェズレーが、夏休みの自由研究で、自分だけの作物を育て、新しい文明を作り出します。

☆☆